

平成二十七年九月十八日提出
質問第四六一号

外務省HPから歴史問題ページが削除された件に関する第三回質問主意書

提出者 鈴木貴子

461

外務省HPから歴史問題ページが削除された件に関する第三回質問主意書

各種報道によると、外務省がホームページから、先の戦争をめぐる政府の立場をまとめた「歴史問題Q&A」を八月十四日に削除していたことが同月十七日分かった。従来の内容は平成七年の村山富市首相談話のベース。安倍晋三首相が同月十四日に発表した戦後七十年談話と整合性をとるため、改訂が必要と判断したとみられる。また削除されたページでは「政府の歴史認識」について、先の大戦における日本の行為を「植民地支配と侵略」と指摘。「痛切なる反省と心からのおわびの気持ちを常に心に刻み」と記述していたとのことである。

右と、「前回答弁書」(内閣衆質一八九第四二四号)及び「前々回答弁書」(内閣衆質一八九第三九一号)を踏まえ、再質問する。

一 前回質問主意書で、内閣総理大臣談話が出た八月十四日から、一ヶ月近くになるが、何故「歴史問題Q&A」の掲載に時間がかかっているのかと問うたところ、「前回答弁書」(内閣衆質一八九第四二四号)では、「…外務省において、平成二十七年八月十四日の内閣総理大臣談話の内容を踏まえたものとするために整理し直し、しかるべく決裁を経た上で新たなものを掲載すべく、現在、掲載する内容について精査

しつつ、改訂作業を行っているものである。」との答弁をなされている。一カ月が過ぎ、「歴史問題Q&A」の掲載にあまりにも時間がかかりすぎていると考えるが、外務省の見解如何。

二 「歴史問題Q&A」はいつ載せるのか。

右質問する。